

## E スクエア・プロジェクト

### 平成13年度学校企画実施計画書

= 俳句プロジェクト =

～俳句を作りを通して、

地域の四季の移り変わり・人とのかかわりなどに目をむけよう～

横浜市立大口台小学校

担当者：佐藤 幸江

#### 1、企画のねらい

一昨年度は「絵のリレー」の学校企画を行った。デザイナーの方に最初の絵を描いていただき、その絵の「形・色・テーマ」など気に入ったところをイメージのもとにして自分の絵を描きあげ、インターネットで送り合った。

小学生だけでなく高校生や専門家の方々との絵の交流を通じて、それぞれの絵のよさを感じ合ったり、自分たちのよさに気付いていったりした。この企画により、インターネットが他者の立場や考え方とふれあうチャンスを多くし、様々な価値観を学び場となったと感じている。

そこで、今年度は、日本で生まれた文化である俳句に挑戦したいと考えた。本年度のプロジェクトは、一昨年度のコンセプトを継承しつつ、さらに参加する人や地域を増やし、地域による季節感の違いや人による感じ方の違い、さらには自分自身や地域をふりかえりよさを感じることができるようになりたいと考えている。

例えば、神奈川中学は、大口台小学校の卒業生が通う学校である。そことの交流は中学生と仲良しになるだけでなく、自分たちの通う中学校に愛着をもつことにつながるであろう。また、盲学校との交流は、同じ地域にある障害のある人たちと理解し合えるチャンスとなるであろう。札幌新川高校や他地域の小学校との交流は、地域性を見直すきっかけになるであろうと考えている。

また、大口台小学校は、札幌新川高校の呼びかけで、4年間「サッポロ雪まつり」の雪像づくりに参加している。今年も参加し、その時の様子や気持ちを俳句に表すという活動をして、雪像づくりに参加できなかった子どもたちも、一緒に楽しむ機会となったらと考えている。

さらに、日本に古くからある文化としての俳句そのものにも興味をもつ子どもたちも出てくるであろう。そういう子どもたちには、インターネットを通じて俳人や俳句を愛する人々との交流などが実現できればと考えている。

これらの経験が、この企画に参加した子どもたちの生きて働く力となるよう支援していきたい。

## 2、企画の概要

### (1) 対象

大口台小学校の場合... 6年生 / 国語・図画工作科・総合的な学習の中で実施

### (2) 実施内容

- 準備
  - ・参加校への呼びかけ
  - ・参加校教師の打ち合わせ
  - ・環境の整備
- 内容
  - ・季節毎に感じたことを俳句や絵に表し、感想を交換し合う。
  - ・参加校毎に、自分たちの俳句や他校の俳句から感じたことを話し合う。
  - ・話し合ったことをネット上で出し合い、それぞれの感じ方の違いを感じ合う。
- 規模
  - ・様々な地域・校種・年齢が参加
  - ・オンライン上だけでなく、オフラインの交流も計画
    - 北海道 / 札幌新川高校
    - 福井 / 春江小学校 6年生
    - 神奈川 / 宮ヶ瀬小学校 6年生
    - 神奈川中学校
    - 盲学校
    - 大口台小学校 6年生
    - 三重 / 太郎小学校 6年生
- 評価
  - ・俳句プロジェクトへの参加人数と俳句数
  - ・児童に「プロジェクトに参加して」というアンケートをとる
  - ・教師に「プロジェクト運営に関して」というアンケートをとる

## 3、実施体制

### (1) 実施体制

大口台小学校教師側... 情報教育部会と6年生学年部会

他校との連絡は、インターネットメーリングリスト活用

### (2) 実施スケジュール

- 5月
  - ・教師側準備期間
  - ・参加校への呼びかけ
  - ・春の俳句募集「新学年、新たな気持ちで一句」 < 実践 1 >
  - ・感想を出し合おう
- 6月
  - ・入江川調査隊
  - 地域の人に川を大切にすることをもらおうような「川についての一句」 < 実践 2 >

- ・地域に配布
- 8月 ・夏の俳句募集「夏休み、絵もつけ加えて一句」＜実践3＞
  - ・感想を出し合おう
- 10月 ・待ちにまった修学旅行「修学旅行で一句」＜実践4＞
  - ・宮ヶ瀬小学校の文化祭に「俳句と絵」を送って、展示してもらおう
  - ・感想を出し合う（できたら、宮ヶ瀬小の文化祭での反応も聞く）
- 11月 ・秋の俳句募集「秋の風景で一句」＜実践5＞
  - ・感想を出し合おう
- 2月 ・雪まつりオフラインの会
  - 冬の俳句募集「雪まつりで一句」＜実践6＞
  - ・感想を出し合おう
- 3月 ・「思い出の俳句集 CD-ROM」を作ろう＜実践7＞

(3) 実践2についての活動案

＜総合的な学習・活動略案＞

学年・組 6年2組 30名

ねらい 地域の人や交流している人に川を大切にしている気持ちをもってもらえるような、川を題材にした俳句を作り、ピラやインターネットを通じて配布する。

活動の流れ

活動	支援
1.入り江川調査を行う。 ・水や色やにおいを調べる。 ・水質をはかる。COD パックテスト PH ・生き物を調べる。 ・川のまわりの様子を観察する。 ・川のまわりに住んでいる人にインタビューする	? インターネットで調査方法をさがす。 ? それぞれの調査グッズを用意する。 ? うまく調査できるよう支援する。
2.調査したことをまとめて、宮ヶ瀬小にテレビ会議で報告しよう。 ・調べてきたことをまとめる。 ・テレビ会議でどうやって発表するか工夫する。	? それぞれの伝え方を工夫するよう支援する
3.テレビ会議のおまけに「俳句」を発表しよう。 ・どんなことを俳句に込めたいか。 ・どんな言葉を使えば伝わるか。	? 川へ調査に行く時に、事前に作ることを予告しておく。

4. 地域の人にも、川についての俳句を ビラにして配ろう。	? ビラは、コンピュータで制作し、地域 の掲示板などに貼っていただくように する。
----------------------------------	---